

パルシステム東京 震災復興支援基金「パル未来花基金」助成活動レポート

震災復興支援基金「パル未来花基金」の助成を受けて、復興支援活動に取り組みました。その取り組みについて、組合員の皆さんにご報告します。

グループ名	星空キッズツアー
支援対象者・エリア	福島県内在住の子どもと保護者（希望者）
企画開催地	山梨県北杜市高根町清里
企画名称	星空キッズツアー２０１９ in 清里
実施期間	２０１９年８月１０日（土）～１２日（月）

支援活動の目的・内容・感想

（どうしてこの活動をはじめたのか、どのようなことに取り組んだのか、取り組んだ感想など）

３．１１震災後の原発事故による放射能の影響から避難するために、２０１１年から取組んでいます。当初は、放射能をなるべく避けるということが大きな目的でした。夜にうなされる子、鼻血を出す子、食欲のない子、熱を出す子など、体の不調を訴えるお子さんが多く、表情も硬く精神的にも緊張を強いられている様子でした。

２０１９年、９回目を迎え、参加者は、震災当時のことを覚えていない子どもたち、また、震災後に生まれた子どもたちも多くなりましたが、日頃、様々なことに気を遣い、外で思いっきり遊べない子どもたちにとって、体も心も解放される時を過ごしてほしいと考えて活動しています。わずか３日間ですが、あるお子さんが、「日頃欠かせなかった目薬をささずに過ごすことができました。」というようなこともありました。

夏休みの２泊３日を清里で、自然の中でのびのびと遊んでほしいと企画を始めました。食べ物も、できるだけ安全安心な食べ物を、心配なくみんなで楽しく食べることを考えて、カレー作りや朝食づくりなども取り入れています。現地で子ども向けに活動している団体等に協力してもらって、プログラムを組んでいます。牧場など広い草原で走り回ったり、アスレチックで遊んだり、動物と触れ合ったり、川で遊んだり、自然観察・星空観察など。宿泊所には体育館が併設されているので、そこでボール遊びなどをするのもよい思い出になっています。また、道具もルールも何もないところで、子ども自身が工夫して遊び始めることを大事にして、自由に遊ぶ時間を多く取るように心がけています。２０１９年は川遊びを取り入れたのでできませんでしたが、収穫体験は子どもたちに人気があります。収穫したてのトウモロコシを生で食べたり、ブルーベリーを摘みながら食べる経験は、そのおいしさとともに子どもの記憶に残っていくことでしょう。

何回か参加している保護者の方は現地スタッフとなっています。「遠く離れた場所にも知り合いがいてくれる、原発事故のことを忘れないでいてくれる仲間がいることは心強い。」という言葉で、東京のスタッフも活動を続ける励みになりました。

学生スタッフの参加が増えて、子どもたちを受け止め、寄り添ってくれています。また、事前学習会や保護者の方の生の声を聞いて、原発事故の意味や保養の活動について、学生スタッフも大人のスタッフも、学びの場となっています。

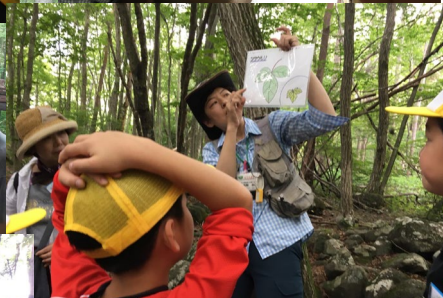
なお、ツアーの名前の由来は、宿泊所に大きな天体望遠鏡があることに因んでいます。清里は日本国内有数の星空のきれいな場所で、晴れている夜は肉眼でも天の川をはじめ、たくさんの星が見られます。

活動の様子（写真など）

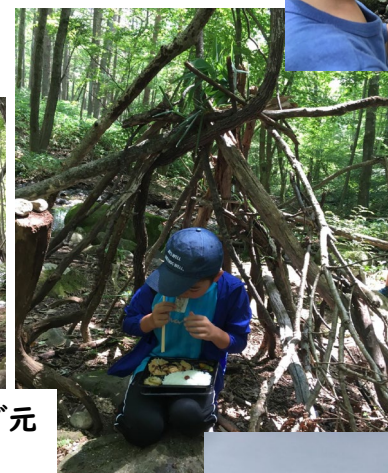


森の中で、みんなで作った
夕ごはん、朝ごはん

2日目は森の中で、
何をした？



自然の中で、
遊びの達人に
なったかな？



3日目は滝沢牧場で、最後まで元
気に遊んだよ！



楽しかったこと忘れないでね。また、来年会えると
いいね！最後にみんなで記念撮影パチリ！